

この数年 両膝の痛みを我慢しながら引き摺ってきたけど、今は光明園介護老人施設で軽ソリハビリをしながら、ぬり絵や脳活の組み立てパズルをしたり、困りの人々と談笑して週一でお世話になっている私です。

去る六月のある土曜日の午後、先生による線書きの絵が配られ、色鉛筆でぬり絵にする時がありました。それは実がいっぱい生なっている山栴の木の絵でした。

私は、その絵に色鉛筆を走らせながら、その絵の中に引き込まれるように、私の長い長い人生の往昔の想おもい出と記憶が蘇よみがってきました。

あの日、母と二人で母の弟になる叔父さんの持ち山に、山栴の実をちぎりに行った時のことを。

母は四十五才、私は十三才位の時でした。よく熟れた実を、時々口に頬張りながらも、叔父さんに借りたヤオゴにも、沢山ちぎり込